

建築カレッジと研修生が共に変化し前進しよう。 立ち位置を再確認し、2018年を飛翔の年に

東京建築カレッジ 学校長 小林 謙二
工学博士 関東学院大学 名誉教授



2017年11月、奈良研修で

カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ

授業見学
大歓迎！

Tel
03-
5950-1771

皆さん、新年明けましておめでとうございます。皆さんにとって昨年はどのような年でしたか？12月23日、終年式の際、参加の研修生や教員の皆さんに、一年間を表す漢字一文字を尋ねたところ、「疲」という反応がありました。これはこれで、カレッジの教員としては、うなずけるところですが、私の一文字は「怒」でした。物騒（ぶっそう）な文字ではありますが、うなずかれる方も少なくはないのでしょうか？

さて、建築カレッジの新年は、どのような年になるのでしょうか？

しかし「追い風」には、危険な側面もあります。風に乘っているつもりが、追い立てられている。新国立競技場の建設に従事していた若者の過労死などの報道も現実の厳しさを示しています。また、風に乗せられているだけでは、ちょっとした風（なぎ）の時にこけて

追い風には危険も

建築技術者・職人にとっての2018年を考えてみましょう。日本全体としてみれば、引き続き「追い風」といえるのかもしれませんが、ものづくりの産業としてみると、設計者より管理技術者が、管理技術者より技能者・職人の重要性が高まっているようです。建築の技能者・職人を育てる本校やそこで学ぶ研修生には「追い風」が吹いていると見ることはできます。

教育体制の拡充へ

しまいます。自分の立ち位置を常に確認し、自身の能力向上を目指して勉強を怠らないことが必要でしょう。

こうした労働者としての自覚と研鑽（けんさん）の必要性を重視するわれわれは、皆さんの技術・技能の会得（えとく）や体調状況の変化に応じた教育体系を考えます。そして、次世代の建築を担う技術者・技能者のための教育体制と物理的な環境について現実的な発展の構想を立てます。本校の教育体制が変化するように、皆さん研修生の学ぶ姿勢にも変化が要求されると思います。

建築カレッジと研修生が共に変化し、研修生全員が将来、次の世代の後継者として期待される有用な人材になれるよう、2018年を有益に過ごされるよう願っています。

今期最後の入学選考は2月7日！

授業＆学校見学は お気軽に！

第4回募集日程	
学校説明会	1月24日（水）午後2時・午後7時
応募締切	2月 1日（木）
試験日	2月 7日（水）午前10時～
結果発表	2月 9日（金）

募集要項は、東京建築カレッジのウェブサイトに掲出。
年末年始除き毎週金曜・土曜に授業。見学歓迎します。

お問い合わせ・資料請求は下記まで

東京建築カレッジ 事務局 03・5950・1771

〔東京土建技術研修センター内〕月～金、9時～18時

第22期生（1年生）からのメッセージ



玉江 マリ子さん

古民家の再生に興味があり、製図の勉強もしたかったので、とても魅力的でした。今は新しい知識や技術が身について自分がどんどん変わっていくことを実感しています。

石関 直輝さん

入る前は授業についていけないのではないか、不安でした。けれど、先生たちが丁寧に教えてくれるので、なんとかなっています。皆さん、勇気出して挑戦を。

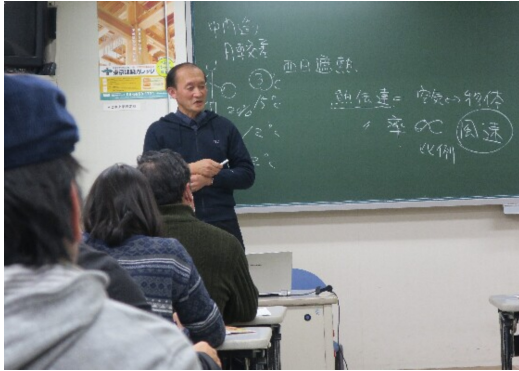


市民にひらかれた学校をめざす建築カレッジ

東京建築カレッジは、2017年8月からミニ公開講座を始めました。今年度のテーマは「エアコンを使わずに快適に暮らす住まいづくり」(金田正夫講師、㈲無垢里一級建築士事務所代表)。「地球温暖化の危機にどう立ち向かうのか」「人と自然にやさしい家づくりにとって大切なこととは」などの関心から、毎回30人前後の参加者がいます。中にはお客さんと一緒に受講する建築家の姿も。

全8講のうち6講が終了しました。第7回は2月9日(金)「結露は現代病」、第8回は3月3日(土)「断熱材を使わない断熱」です。参加費は無料。1回だけの聴講も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

会場は、東京建築カレッジ池袋校舎、受付開始は午後6時半、開会7時



実測データに基づいた説得力のある解説が好評(1月5日)

実習棟実習 班ごとに最後の追い込み

伝統構法を取り入れて手刻みで木造軸組の2階建ての家をつくり上げる実習棟実習は、建築カレッジの教育実践の大きな特色です。第22期生は、第21期実習棟の解体実習の後、①図板書き、尺杖づく

り、②墨付け、③刻み、④仮組み、⑤建方、上棟、という流れで、十数回の授業を受けます。日本が世界に誇る大工技術の奥深さを実感しながら、クラスメイトと協働して、一つの家をつくりあげる授業です。

小屋組み班と丸太班の作業の様子(1月6日)



1月19日(金)・20日(土)実施「建方・上棟」の見学歓迎!

すべては正確な「図面」から

第21期生は、規矩(きく)術演習の総仕上げ「棒隅木」(屋根の隅の構造体)の製作に全員が真剣に取り組んでいます。直角三角形の定理を使いサシカネで自在に複数の勾配、角度

を割り出す規矩術の理解度が問われる課題です。正確な原寸図からすべては始まります。木造に限らず、建築のエッセンスが詰まっている授業といえます。

2年生の授業から

原寸図は作品の出来栄を左右する(1月6日)



建築カレッジ☆1月の予定

◇1年生(第22期) 実習棟「建方・上棟」見学会

1月19日(金)・20日(土)
午前10時～午後4時 江東実習場

実習棟「建築構造実験」見学会

1月26日(金)・27日(土)
午前10時～午後4時 江東実習場

東京建築カレッジ 江東実習場

東京都江東区北砂1-15-12

電話03-5632-4201 ウェブサイトに地図があります。

見学希望の方はかならず事前に電話をください。

東京建築カレッジ 事務局 03・5950・1771

[東京土建技術研修センター内] 月～金、9時～18時